証券コード6859

参考資料

サステナビリティの取り組み

2026年11月20日
エスペック株式会社

エスペックのサステナビリティについて

当社は企業理念「THE ESPEC MIND」のもと
環境創造技術をかなめとした事業で社会や環境の
課題解決に貢献し、持続的な成長を目指しています。

企業理念

創業当時から伝わるエスペックの大切な価値観

企業理念「THE ESPEC MIND」（抜粋）

起 点	社会の公器として、 すべてのステークホルダーとより良い価値交換を目指す
使 命	環境創造技術でより確かな生環境を提供
スタイル	プログレッシブ（進取的な）、リライアブル、オープン、フェア
宣 言	社会に約束すること「遵法」「文化」「人権」「環境」「啓発」

サステナビリティ方針とマテリアリティ

持続的成長に向けて、サステナビリティ方針を策定し、「社会的価値」「経済的価値」を創出していくために取り組むべきマテリアリティ（重要課題）を特定

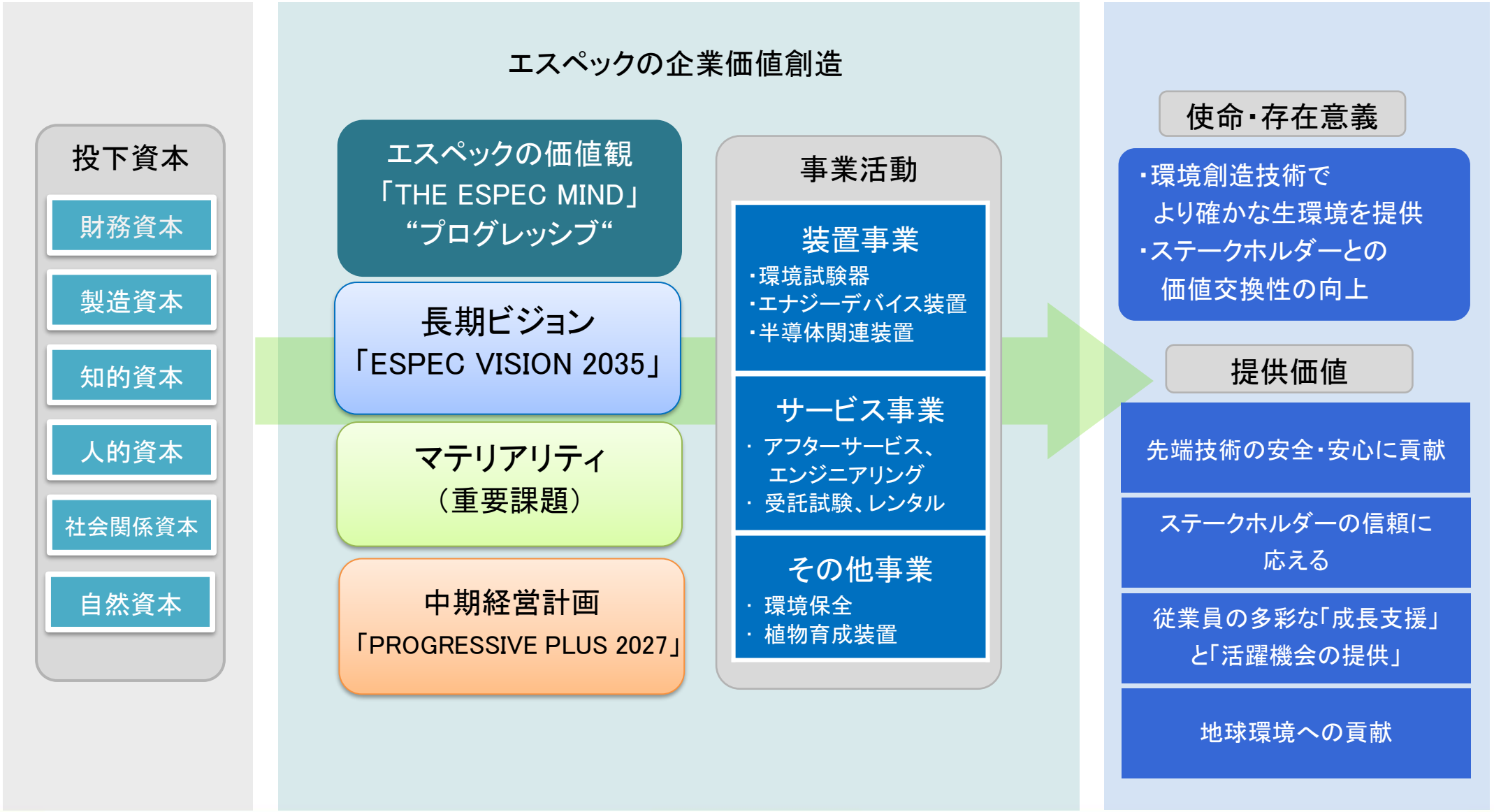
サステナビリティ方針

- ■ 企業理念「THE ESPEC MIND」の実践により、「社会的価値」と「経済的価値」の創出と向上を図ります
- ■ ステークホルダーとのより良い価値交換により持続的成長を目指します
- ■ ESPEC VISION 2035のもと、「環境創造技術」をかなめとした事業活動を通じて地球環境や社会課題の解決に貢献します
- ■ サステナビリティに関する情報開示を積極的に行います

マテリアリティ

- ・グローバルな事業を通じた社会課題解決
- ・責任ある製品サービスの提供
- ・環境への配慮
- ・人材の確保・育成
- ・人権の尊重
- ・グループガバナンスの強化

企業価値創造プロセス


投下資本
財務資本
製造資本
知的資本
人的資本
社会関係資本
自然資本
エスペックの企業価値創造
エスペックの価値観
「THE ESPEC MIND」
“プログレッシブ“
長期ビジョン
「ESPEC VISION 2035」
マテリアリティ
（重要課題）
中期経営計画
「PROGRESSIVE PLUS 2027」
事業活動
装置事業
・環境試験器
・エナジーデバイス装置
・半導体関連装置
サービス事業
・ アフターサービス、エンジニアリング
・ 受託試験、レンタル
その他事業
・ 環境保全
・ 植物育成装置
使命・存在意義
・環境創造技術で
より確かな生環境を提供
・ステークホルダーとの
価値交換性の向上
提供価値
先端技術の安全・安心に貢献
ステークホルダーの信頼に応える
従業員の多彩な「成長支援」と「活躍機会の提供」
地球環境への貢献

エスペックの事業

装置事業

環境創造技術を駆使した製品・サービスの提供による先端技術の発展への貢献

・社会・環境課題の解決に向けた先端技術の開発に貢献する製品、サービスの提供

●環境試験器

温度や湿度などの環境因子を人工的に再現し、製品の信頼性を確保する環境試験器を提供

●エナジーデバイス装置

電気自動車（EV）などに搭載される二次電池や燃料電池の評価装置を提供

●半導体関連装置

半導体の検査用バーンイン装置や計測評価システムなどを提供



恒温恒湿器
プラチナスJシリーズ



自動車が一台入る
実車試験装置



半導体検査用
バーンインチャンバー



二次電池用
充放電評価装置

エスペックの事業

サービス事業

環境創造技術を駆使した製品・サービスの提供による先端技術の発展への貢献

・社会・環境課題の解決に向けた先端技術の開発に貢献する製品、サービスの提供

●アフターサービス・エンジニアリング

お客さまが安心して装置をお使いいただけるよう製品のメンテナンスや予防保全を実施

●受託試験・レンタル

環境試験で培った技術と試験ノウハウで受託試験サービスを提供。環境試験器のレンタル、リセールも実施




ITを活用したテクニカルサポート




再生可能エネルギー100%による受託試験サービス（国内）

エスペックの事業

環境保全事業

生物多様性保全への貢献

生物多様性やCO2の固定化に貢献する「森づくり」のほか、自然の河川を取り戻す「水辺づくり」、在来種による「草地づくり」など自然環境を復元する環境保全事業



仙台市輪王寺参道の
復元された森



東京都 隅田川テラスにおける
水辺づくり

植物育成装置事業

地球温暖化や異常気象に対応した食の安定供給への貢献

温度や光などを制御し、効率的に野菜を生産できる植物工場や研究用装置のほか、水や養分を循環させて野菜と魚を一緒に育成するアクアポニックスなどのシステムも提供



海洋深層水を利用した植物工場
ミネラル豊富な野菜を生産・販売



乾燥地植物気候変動応答実験設備
（鳥取大学 乾燥地研究センター）

環境目標・環境中期計画

2030年度 環境目標

温室効果ガス排出量（2019年度比）
SCOPE 1+2（自社排出） 60%削減、SCOPE 3（間接排出） 30%削減

■2023年7月、国際的なSBTイニシアチブ※より「SBT(Science Based Targets)」認定を取得

※SBTイニシアチブ
パリ協定の目標達成に向け、企業に対して科学的な根拠に基づいた温室効果ガス排出量の削減目標の設定を推進している国際的なイニシアチブ。
CDP、UNGC（国連グローバル・コンパクト）、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）が共同で運営

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

第8次環境中期計画Plus Ⅱ（2026年度～2027年度）

温室効果ガス排出量（2019年度比）
SCOPE 1+2（自社排出） 57%削減

＜重点テーマ＞
・地球温暖化対策の強化
・資源循環の推進と化学物質管理の強化
・生物多様性保全の推進
・開示情報の充実

生物多様性保全の取り組み①

生物多様性保全活動の拠点 神戸R&Dセンター
「令和8年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞

・社員が約3万本の在来種を植樹し育てた森や、六甲北部の在来種を用いた屋上草地、
2つの池と小川からなるビオトープを設置

・ 2023年10月、環境省「自然共生サイト」に認定され、OECM※として国際データベースに登録

・ 2026年4月には、「令和8年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞




表彰状

エスペック株式会社神戸R&Dセンター殿

貴殿は多年にわたり緑豊かな地域社会づくりに励み緑化の推進に尽くした功績は誠に顕著であります
よってこれを表彰します

令和八年四月二十四日

内閣総理大臣 高市早苗

「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」表彰状

※OECM (Other Effective area based Conservation Measures): 保護地域以外で生物多様性保全に資する地域

生物多様性保全の取り組み②

生物多様性保全活動「エスペック50年の森」

・2022年11月、兵庫県三田市にて林野庁「法人の森林」制度を活用した森づくりを開始

・2024年4月までに全3回の植樹祭を開催

・2年間で社員などのべ約400名が参加、計12,000本を植樹



第3回植樹祭
苗は炭素固定・生物多様性機能をふまえて選定

エスペック地球環境研究・技術基金

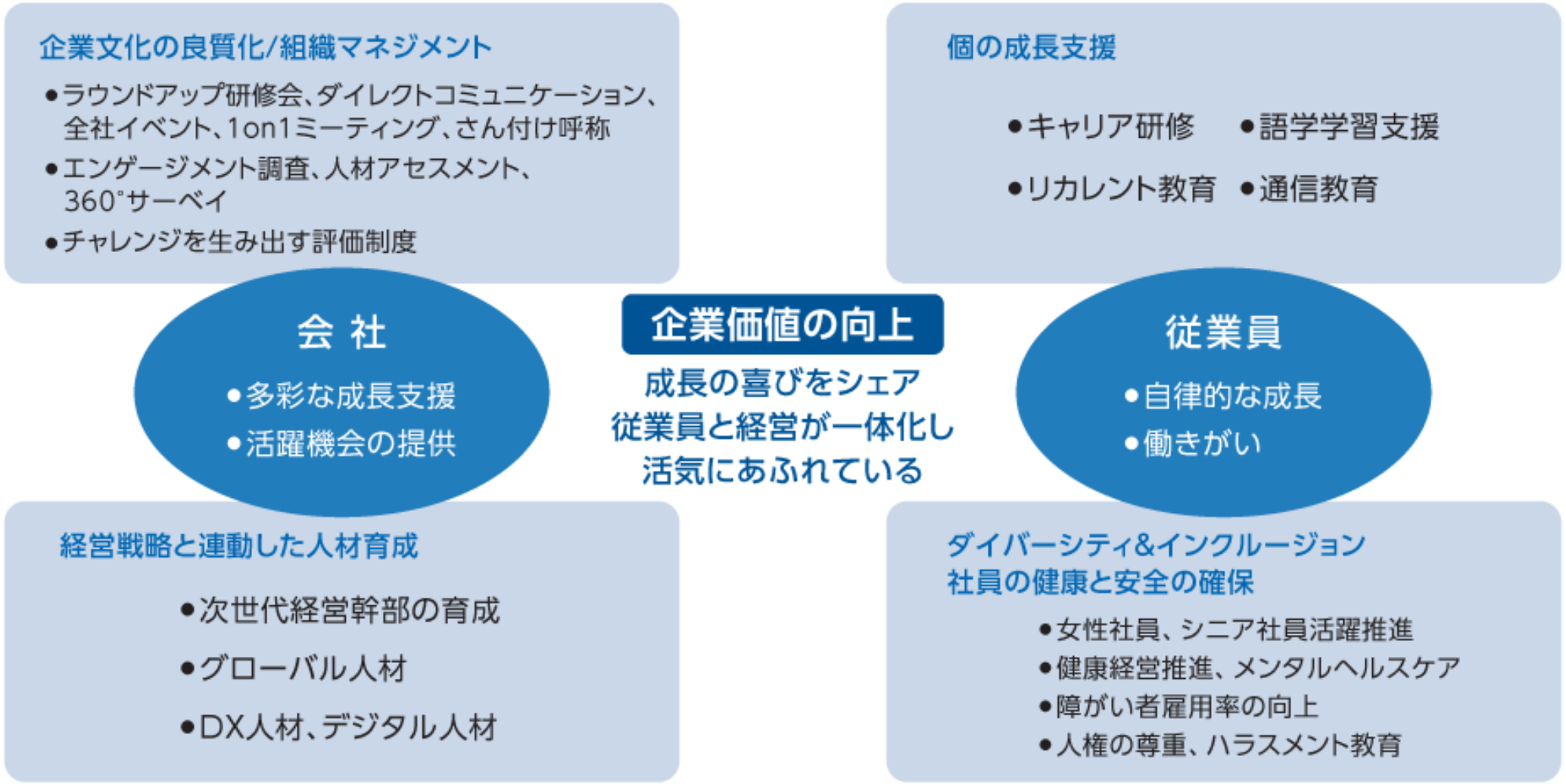
・地球環境保全に関する研究・技術開発に対して毎年資金援助を実施

・1997年設立から28年間で、計361件、総額1億8,291万円を助成



第29回授与式

人的資本の最大化に向けた取り組み



社会貢献活動

従業員参加型の寄付制度「エスペックスマイルクラブ」

・従業員の寄付金に会社が寄付金を上乗せするマッチングギフト制度を活用し、子供と医療関係の社会貢献活動を行う団体に寄付
・2026年4月、特定非営利活動法人ジャパンハートへ総額1,403,900円を寄付

※「ジャパンハート」：国内外で無償の医療サービス提供を行う日本発祥の国際医療NGO

障がい者就労農園の収穫野菜を子ども食堂に寄付

・障がい者就労農園「エスペックスマイルファーム」※で収穫した野菜を地域の子ども食堂へ定期的に寄付

※2021年11月、障がい者雇用支援会社が運営する貸農園内に開設。
障がいのある方3名と管理業務を行う1名、計4名を採用



非財務データ①　環境

（年度）		対象範囲	2021	2022	2023	2024	2025
温室効果ガス排出量(t-CO2e)	SCOPE 1+2＋3	連結※2	883,400	1,098,905	1,048,332	1,292,432	1,282,803
	SCOPE 1※1		3,293	3,576	3,622	3,768	3,404
	SCOPE 2(マーケットベース)※1		4,248	3,717	4,285	5,563	5,855
	SCOPE 3		875,859	1,091,612	1,040,425	1,283,101	1,273,544
取水量・排水量(1,000㎥)	取水量	連結※2	77	92	99	129	109
	排水量		73	89	99	118	101
排出物総量(t)	総排出物	連結※3	1,701	1,207	1,282	1,185	1,159
	廃棄物		840	542	479	467	389
	再資源化物		861	664	803	718	769
フロン回収量(kg)		単体	3,208	3,695	3,471	3,115	3,200
製品リサイクルサービス(台)※4	累計金額	単体	431	473	482	489	433
エスペック地球環境研究・技術基金による助成(万円)	累計金額	単体	14,741	15,641	16,491	17,391	18,291
環境保全事業による植樹本数(本)		エスペックミック	53,132	80,650	60,314	39,593	45,833

※1 第三者保証報告書に基づく数値
※2 2023年度は、コスモピアハイテック株式会社を除く
※3 販売拠点である愛斯佩克環境儀器（上海）有限公司を除く
　2021年度は、上海愛斯佩克環境設備有限公司、ESPEC KOREA CORP.ESPEC ENGINEERING (THAILAND) CO., LTD.を除く
　2022年度は、上海愛斯佩克環境設備有限公司を除く
　2023年度、2024年度は、コスモピアハイテック株式会社を除く
※4 環境省の広域認定制度の認定を受けて、使用済みの当社の環境試験器を有償で回収し再資源化

非財務データ②　社会

（年度）		対象範囲	2021	2022	2023	2024	2025
国内・海外 従業員数(名)※1	合計	連結	1,628	1,691	1,775	1,860	1,898
	国内		901	906	982	1,042	1,053
	海外		727	785	793	818	845
男女別従業員数(名)※1	合計	単体	770	778	790	838	845
	男性		643	636	633	663	659
	女性		127	142	157	175	186
平均勤続年数(年)		単体	19.1	17.2	17.0	15.3	14.4
平均年齢（才）		単体	43.0	41.2	41.4	40.3	39.7
離職率(%)※2		単体	1.6	1.4	3.3	2.3	1.8
平均残業時間(時間)		単体	15.5	22.6	20.1	21.9	20.7
年次有給休暇取得率(%)		単体	69.1	75.1	74.3	77.8	83.8
女性管理職比率(%)※3		単体	6.0	7.0	9.5	9.8	8.1
女性新卒採用比率（%）※3		単体	28.6	40.0	39.3	30.4	25.0
男女の平均賃金の差異（%）		単体	－	70.3	72.5	73.5	72.6
障がい者雇用率(%)※1		単体	2.50	2.47	2.37	2.46	2.35
育児休業取得率(%)	男性	単体	30.8	13.3	52.9	56.0	46.7
	女性	単体	100	100	100	100	100
教育投資額(百万円)		単体	－	101	129	135	125
ラウンドアップ研修会受講者数(名)※4		単体※5	343	856	485	375	496
ワークエンゲージメント※6※7		単体	－	－	－	B	B
エンプロイーエンゲージメント※6※8		単体	－	－	－	C	B
労働災害度数率(%)※9 ※10		単体	1.34	0	0.55	0	0

※1 各年度末時点　※2 定年退職者を除く　※3 翌年度の4月1日時点　※4 企業理念の理解と浸透を図るための研修会　※5 一部国内グループ会社を含む
※6 エンゲージメント調査における結果（S：大変良好、A：良好、B：標準的、C：要改善、D：至急改善）※7 仕事に対する主体的・前向きな心理状態
※8 会社や組織に対する愛着　※9　派遣社員を除く　※10 休業災害被災者数/延べ労働時間数×100万時間

非財務データ③　ガバナンス

（年度）			対象範囲	2021	2022	2023	2024	2025
取締役会※1	構成（%）	独立社外比率	単体	25	40	40	40	40
		女性比率		0	20	20	20	20
	出席率（%）		単体	100	100	99.2	100	96.9
監査等委員会※1	構成（%）	独立社外比率	単体	–	67	67	67	67
		女性比率	単体	–	33	33	33	33
	出席率（%）		単体	–	100	100	100	100
指名報酬委員会※2	構成	委員長	単体	社外取締役	社外取締役	社外取締役	社外取締役	社外取締役
		独立社外比率（%）	単体	60	60	60	60	60
	出席率（%）		単体	100	100	100	100	100
内部通報件数(件)			単体	0	0	1	0	0
コンプライアンス問題の発生件数(件)			単体	1	3	2	2	0

※1　2022年6月、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行
※2　2021年3月、役員人事と役員報酬について審議する任意の「人事諮問委員会」の名称を「指名報酬諮問委員会」に変更し、2022年3月に「指名報酬委員会」に変更

社外からの評価

■ ESG関連の評価

・ESG指数「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」組み入れ
　ESG指数「S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数」組み入れ

・CDP 気候変動分野の調査で「Bスコア」、水セキュリティは「B-スコア」
　「サプライヤーエンゲージメント評価」では、4年連続最高評価の
　「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定

・日本経済新聞社「日経サステナブル総合調査 SDGs経営編」3.5星

・日本経済新聞社「日経サステナブル総合調査 スマートワーク経営編」 3つ星

・神戸R&Dセンターが「令和8年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」受賞

・厚生労働大臣より「子育てサポート企業」として「プラチナくるみん」取得

・大阪市「女性活躍リーディングカンパニー」認証にて
　「三つ星認証」「イクメン推進企業認証」取得

■ IRサイトの評価

・「Gomez IRサイトランキング」 銀賞（業種別5位）

・「Gomez ESGサイトランキング」優秀企業

・「大和インターネット IR表彰」 優良賞

・ 日興アイ・アール「全上場企業ホームページ充実度ランキング」 最優秀サイト

【お問い合わせ先】
エスペック株式会社
サステナビリティ推進部　IR・広報グループ
E-mail　：ir-div@espec.jp
Webサイト：https://www.espec.co.jp/